

DEQX

ハイディフィニション プリアンプ・プロセッサ

DEQX Control

ソフトウェア／ファームウェア アップデート

バージョン 1.4.174

2026 年 9 月

日本語版（輸入販売代理店による翻訳）

免責事項および責任の制限

DEQX Pty. Ltd.（以下「DEQX」）は、当社製品の使用に起因するいかなる損失・損害についても責任を負いません。

目次

免責事項および責任の制限.....	2
目次.....	3
1 概要と対象製品.....	4
2 アップデート手順.....	5
2.1 ソフトウェアアップデートのインストール.....	6
2.2 プロファイルのエクスポート.....	8
2.3 工場出荷時リセットの実行.....	9
2.4 ソフトウェアアップデートの再インストール.....	10
2.5 DEQX モデルの選択.....	11
2.6 プロファイルのインポート.....	12
3 アップデート内容の概要.....	13
3.1 Source・Profile のドロップダウンメニュー.....	13
3.2 プロファイルのエクスポートとインポート.....	13
3.3 Levels ページのチャンネルごとのディレイ.....	13
3.4 左右独立のパラメトリック EQ.....	14
3.5 パラメトリック EQ の自動計算.....	14
3.6 スピーカー測定・補正方法の変更.....	14
3.6.1 新しい測定方式.....	14
3.6.2 「Create a Speaker」が「Create a Crossover」に.....	14
3.6.3 ドライバーアライメント測定の移動.....	14
3.6.4 ルーム測定の移動.....	14

1 概要と対象製品

DEQX Control バージョン 1.4.174 へようこそ。

本アップデートは、DEQX Control および DEQX クラウドで実行されるスピーカー処理に対する大規模な更新です。主な変更点は次のとおりです。

- マルチウェイスピーカーにおける全ドライバーのタイムアライメント（時間整合）が改善されました。
- サブウーファーを含む低域ドライバーのタイムアライメントが大幅に改善されました。
- パラメトリック EQ 機能が大きく強化されました。
- DEQX Control 全体にわたる操作性の向上。

これは重要なアップグレードであり、既存のスピーカープロファイルを確実に保持するために、定められた手順どおりに進める必要があります。本ノート各ページを必ずお読みになり、すべての指示に注意深く従ってください。途中で行き詰まった場合は、DEQX サポートにお問い合わせください。

このファームウェア／ソフトウェアのアップグレードは、以下の DEQX プロセッサが対象です。

- Pre-8
- Pre-4
- LS200



DEQX が対応する Web ブラウザは、Google Chrome と Opera のみです。どちらもインストールされていない場合は、次の URL からダウンロードできます。

<https://www.google.com/chrome/>

<https://www.opera.com/>

2 アップデート手順

これは重要なアップデートです。既存のスピーカープロファイルを保持し、アップデート後に DEQX が期待どおりに動作するようにするため、次の手順を必ず守ってください。

1. バージョン 1.4.174 のソフトウェアアップデートをインストールします。これは、既存のスピーカー／ルームプロファイルをエクスポートするために必要な前準備です。
2. Profile（プロファイル）ページに移動し、すべてのスピーカー／ルームプロファイルをエクスポートします。
3. Settings（設定）ページに移動し、工場出荷時リセットを実行します。これにより、DEQX の内部状態がすべてリセットされ、バージョン 1.4.174 で正しく動作するようになります。
4. もう一度、バージョン 1.4.174 のソフトウェアアップデートをインストールします。今度は、新しい工場出荷時のデフォルト設定が使われます。
5. Profile（プロファイル）ページに移動し、スピーカー／ルームプロファイルをインポートします。

近道をしたり、独自の方法でアップデートを行ったりしないでください。本マニュアルで説明されているとおり、上記の手順を正確に実行してください。その価値のあるアップグレードです！

2.1 ソフトウェアアップデートのインストール

アップデート案内メールに記載されたリンクをクリックして、ソフトウェアアップデートファイルをコンピューターにダウンロードします。ファイル名は **deqxy3_1.4.174.swu** です。

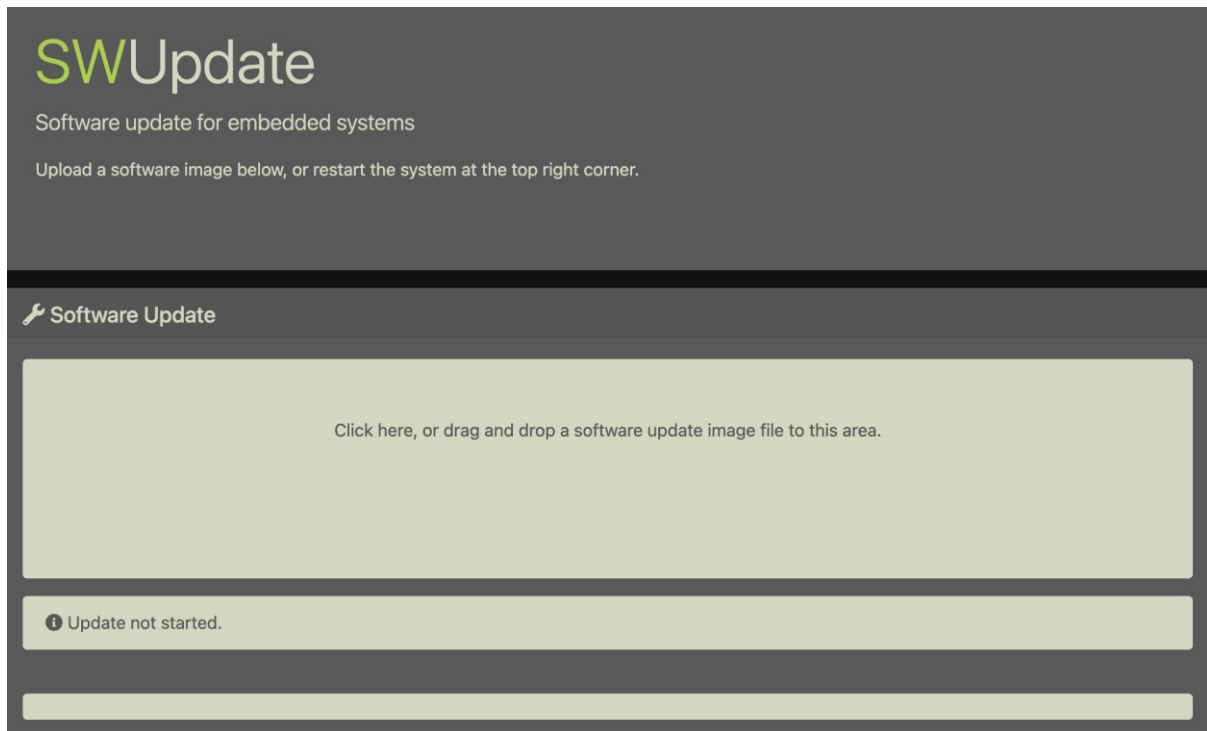
DEQX の電源が入っていてネットワークに接続されていることを確認します。Google Chrome または Opera を開き、DEQX のソフトウェアアップデートページのアドレス **http://deqxy3.local:8080** を入力します。



DEQX が対応する Web ブラウザは、Google Chrome と Opera のみです。どちらもインストールされていない場合は次の URL からダウンロードできます。

<https://www.google.com/chrome/>
<https://www.opera.com/>

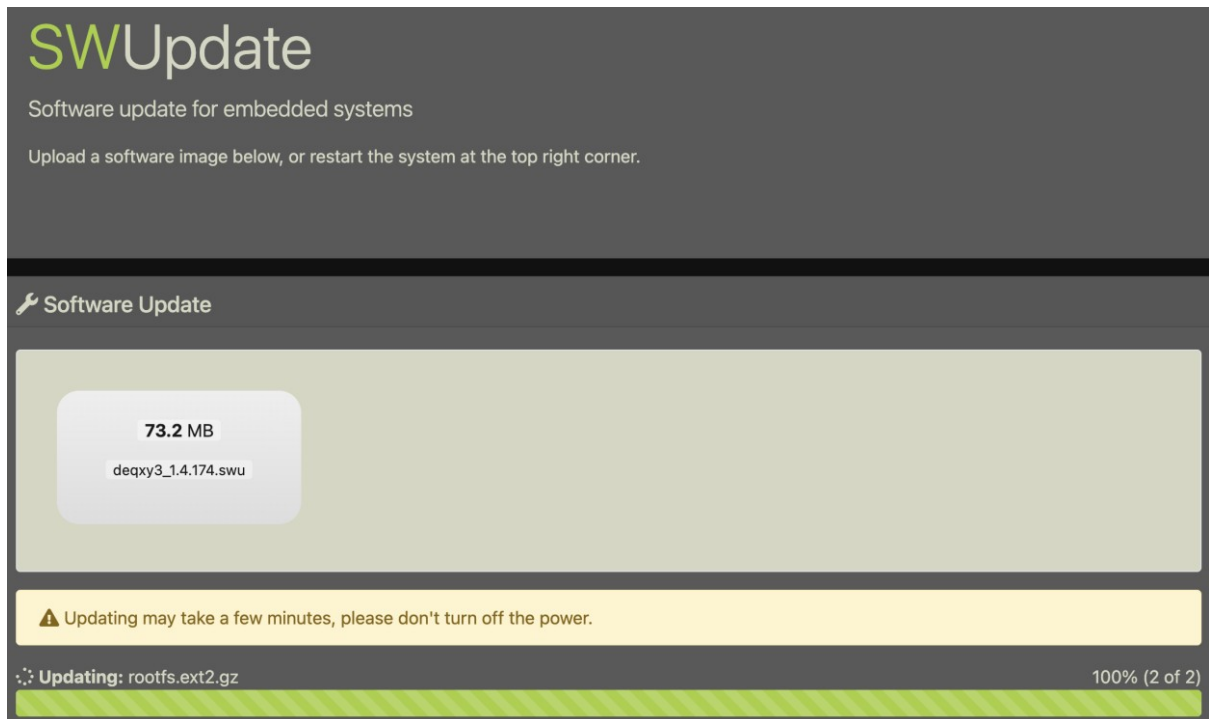
アップデート画面



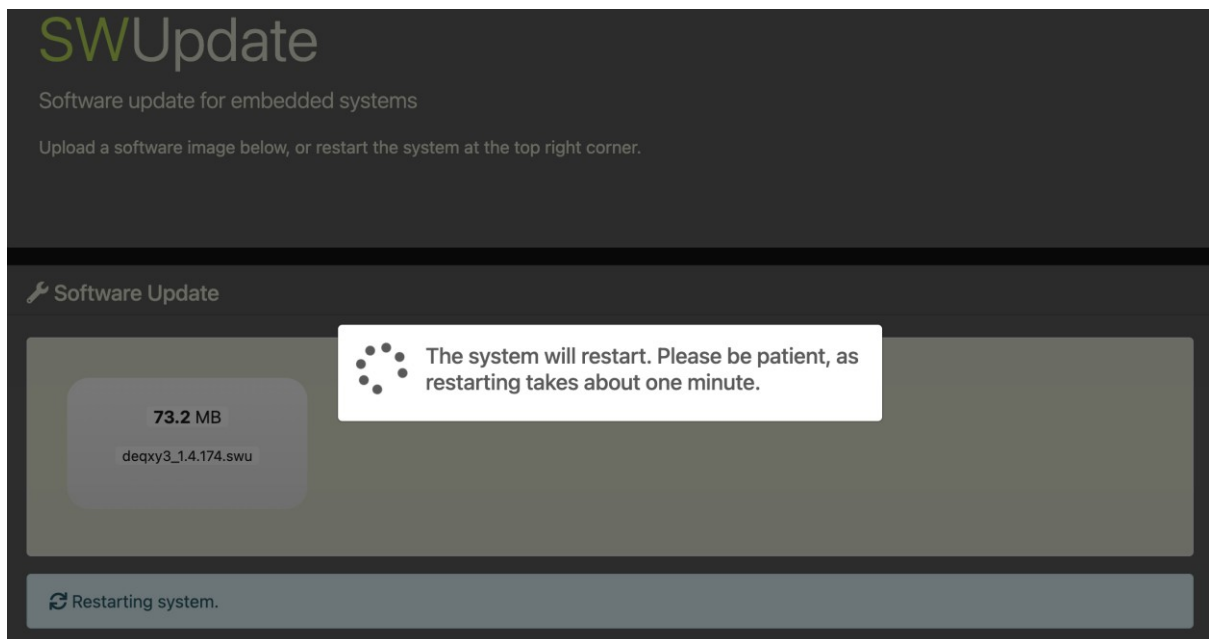
「Software Update」見出しの下にあるボックス（「Click here, or drag and drop a software update image file to this area.」と書かれた領域）をクリックします。ファイル選択ダイアログで、ソフトウェアアップデートファイルを探します（通常はダウンロードフォルダーにあります）。

ファイル選択ダイアログで「開く（Open）」をクリックします。

ソフトウェアアップデートファイルがアップロードされ、インストールが始まります。進行状況の通知が順に表示されます。



その後、DEQX が再起動します。



これは2回行う再起動のうちの1回目です。フロントパネルに次の表示が出るまで待ちます。

FIRMWARE LOADED

**TO COMPLETE THE UPDATE PLEASE:
POWER CYCLE YOUR UNIT USING THE REAR
POWER SWITCH, THEN RELOAD (🔄) ALL
BROWSER WINDOWS INCLUDING MOBILE
DEVICES.**

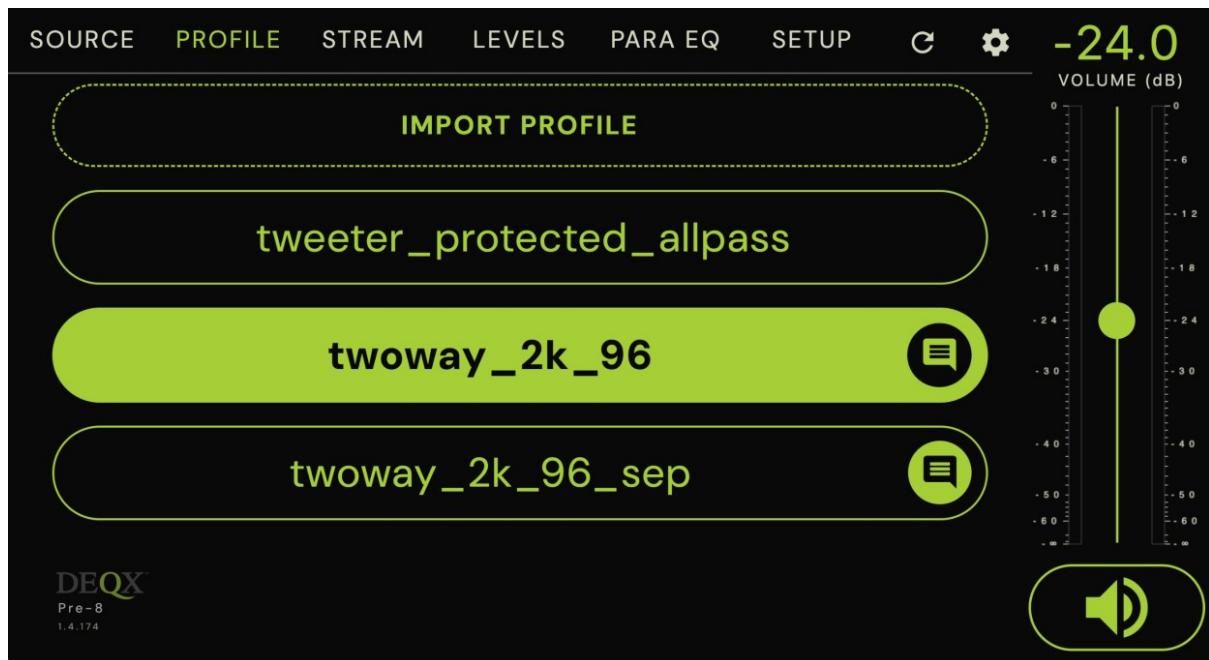
この画面が表示されたら、次の操作を行います。

1. 背面の物理電源スイッチで、DEQX の電源を切ります。
2. 最低 30 秒待ちます。
3. 背面の物理電源スイッチで、DEQX の電源を入れます。
4. インジケータ LED（ボリュームつまみ上）は、DEQX がネットワークアドレスを取得する間ピンク色に点滅します。アドレスを取得すると点灯（ピンク）になり、その後、白色に変わります。
5. フロントパネルの読み込みが完了し、ソース選択ボタンが表示されるまで、さらに待ちます。
6. Google Chrome または Opera で、通常の DEQX 操作ウィンドウ **<http://deqxy3.local/>** を再読み込みします。

【ヒント】 上記の手順のとおり、DEQX の電源を必ず入れ直してください。そうしないと、アップデートが正しく完了しません。再起動には2分以上かかることがあるので、完了するまで気長にお待ちください。

2.2 プロファイルのエクスポート

Profile（プロファイル）ページに移動します。



最初のプロファイルの右にある三本線アイコンをクリックします。表示されるプロファイルダイアログで **Export Profile**（プロファイルをエクスポート）をクリックします。



プロファイルは、プロファイル名から付けられた名前（例：twoway_2k_96.deqx-profile.json）でコンピューターにダウンロードされます。



twoway_2k_96.de
qx-profile.json

残りのプロファイルについても、同じ手順を繰り返します。

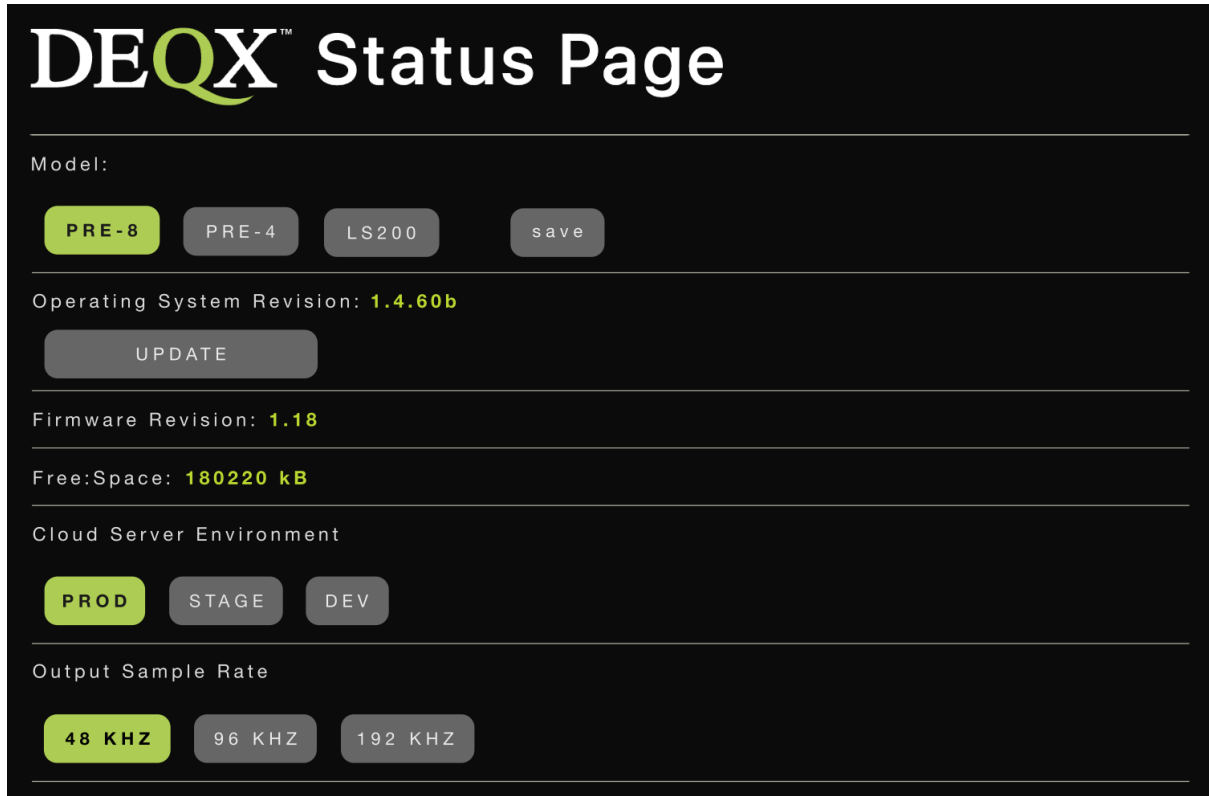
【ヒント】 次のページに進む前に、エクスプローラー（Windows）または Finder（Mac）でダウンロードフォルダーを開き、期待したプロファイルがすべてそろっているかを三重にチェックしてください。ダウンロードしたプロファイルを保管する専用フォルダーを作り、そこへコピーしておくことをおすすめします。次のステップに進むと、プロファイルをダウンロードできなくなります。

2.3 工場出荷時リセットの実行

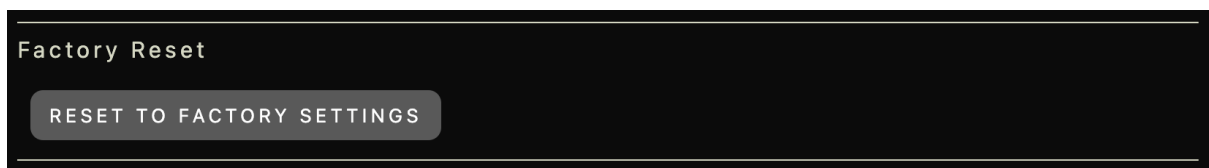
Web 操作画面で、右上寄りにある歯車アイコンをクリックします。



Status（ステータス）ページが別ウィンドウで開きます。



ページの一番下までスクロールし、**Reset to Factory Settings**（工場出荷時設定にリセット）をクリックします。



確認ダイアログを順に進めます。

deqxy3.local:4321 says

Are you sure you want to reset to factory settings? This action will permanently erase all local data and settings.

Cancel

OK

deqxy3.local:4321 says

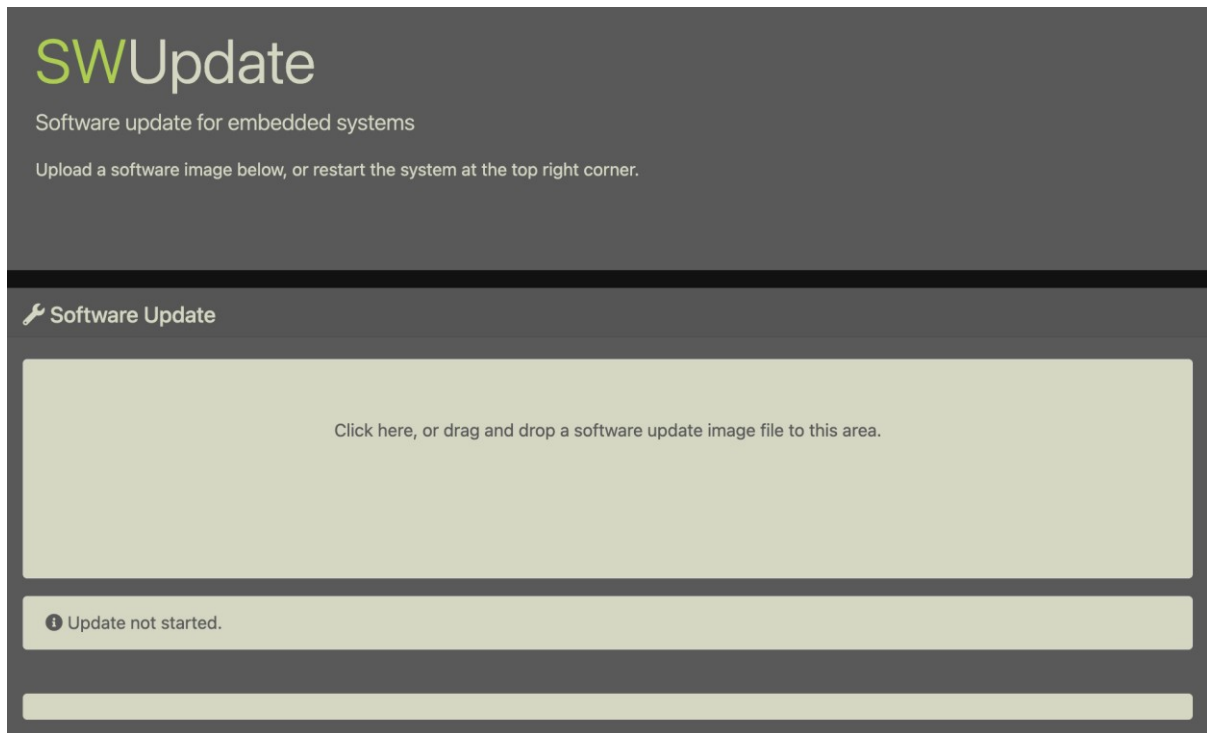
Persistent data erased. Factory reset initiated. Please re-install (or update) the system software at <http://deqxy3.local:8080> before returning to this page, refreshing it and setting the correct model number of your DEQX box.

OK

その後、ステータスページを閉じます。

2.4 ソフトウェアアップデートの再インストール

Google Chrome または Opera で、DEQX のソフトウェアアップデートページのアドレス **<http://deqxy3.local:8080>** を再度入力します。



5～7 ページで説明したアップデート手順を繰り返します。

【重要】 このステップを省略しないでください。

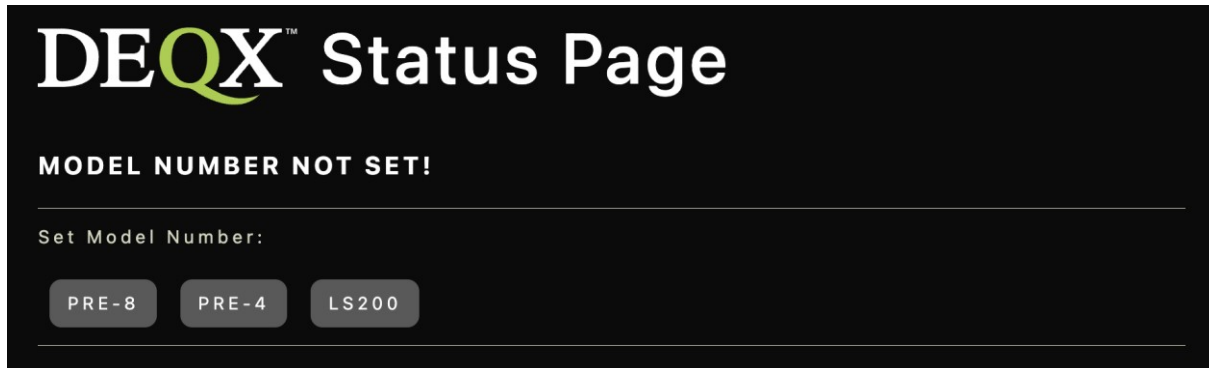
処理全体が終わり、フロントパネルの読み込みが完了するまで待ちます。その後、Google Chrome または Opera で、通常の DEQX 操作ウィンドウ **<http://deqxy3.local/>** を再読み込みします。

2.5 DEQX モデルの選択

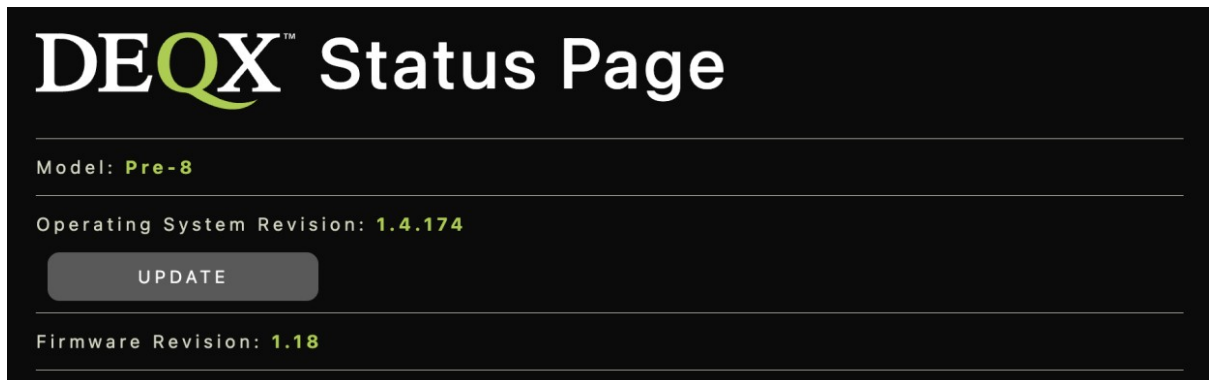
Web 操作画面で、右上寄りにある歯車アイコンをクリックします。



Status（ステータス）ページが別ウィンドウで開き、モデル番号が未設定であることが表示されます。



Pre-8、Pre-4、LS200 のいずれかをクリックします。Status ページは ただちに更新され、選択したモデルが表示されます。

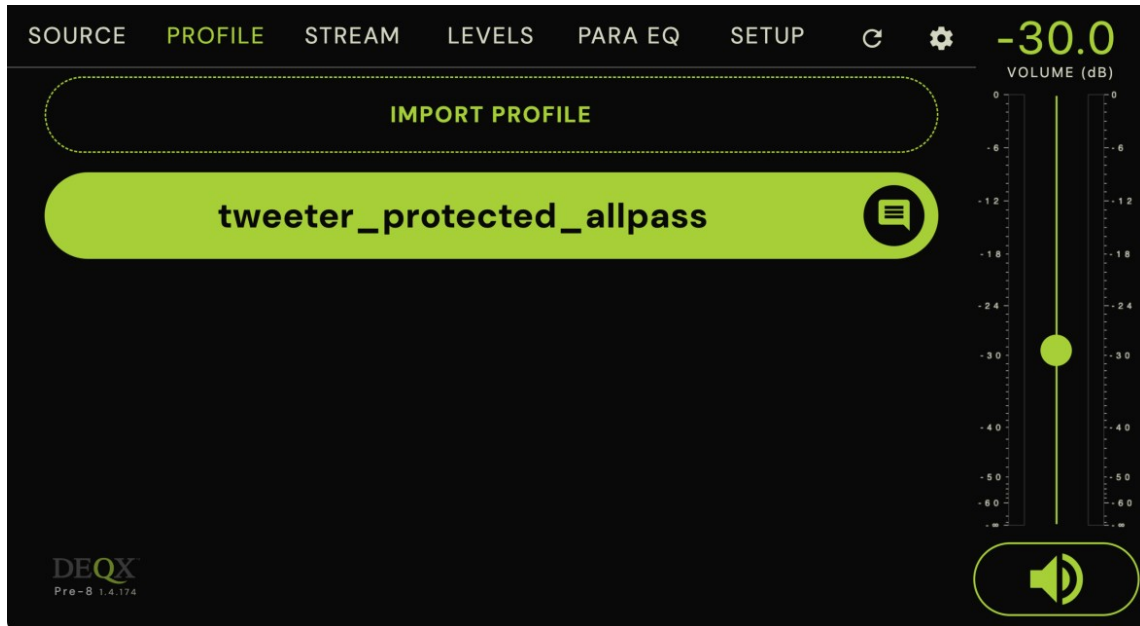


その後、ステータスページを閉じます。

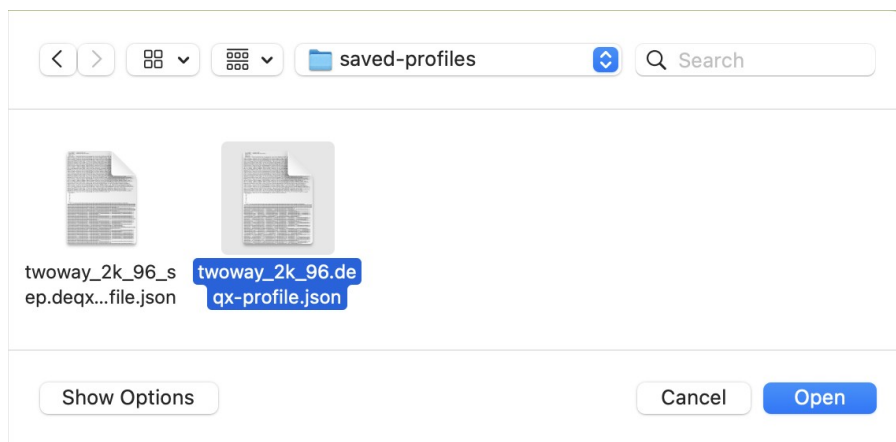
【注意】 この設定は慎重に行ってください。あとからリセットすることも可能ですが、時間がかかり、DEQX サポートの助けを得て解決するまで DEQX が使えなくなる場合があります。

2.6 プロファイルのインポート

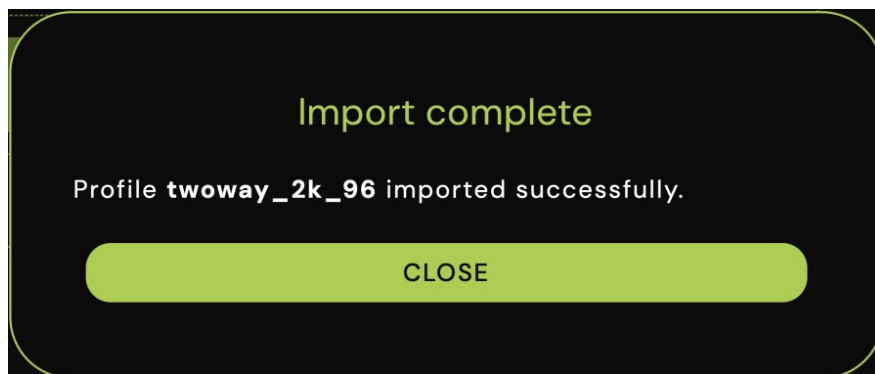
Profile（プロファイル）ページを開きます。



Import Profile（プロファイルをインポート） ボタンをクリックします。プロファイルを保存したフォルダーを開き、最初のプロファイルをクリックして選択し、「開く（Open）」をクリックします。



プロファイルのインポート完了が表示されます。



すべてのプロファイルが読み込まれるまで、上記の手順を繰り返します。

3 アップデート内容の概要

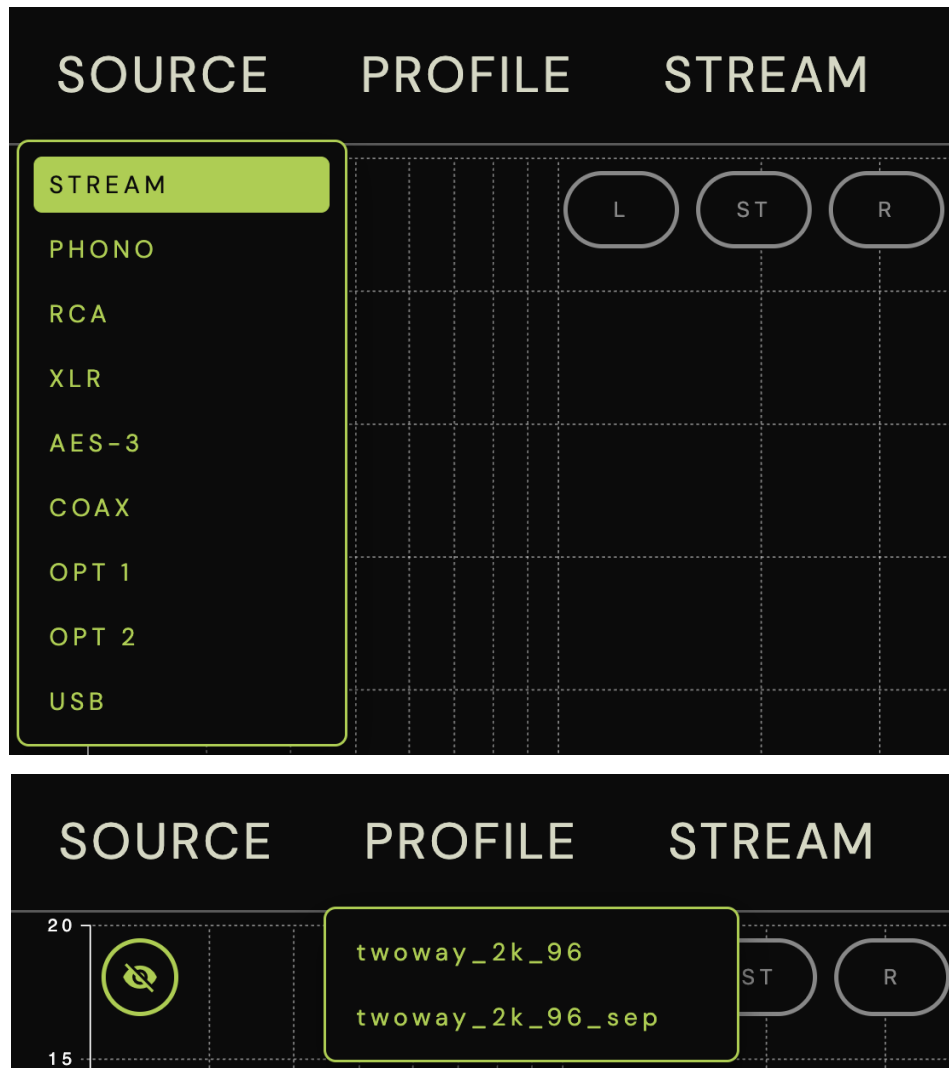
DEQX Control の Web 操作画面は、いくつかの領域が大きく見直され、改善されました。次の各節に目を通し、変更点に慣れておいてください。

各項目の詳細については、更新されたマニュアルを参照してください。

- DEQX Gen4 ユーザーマニュアル
- DEQX Gen4 マルチウェイ・キャリブレーションガイド

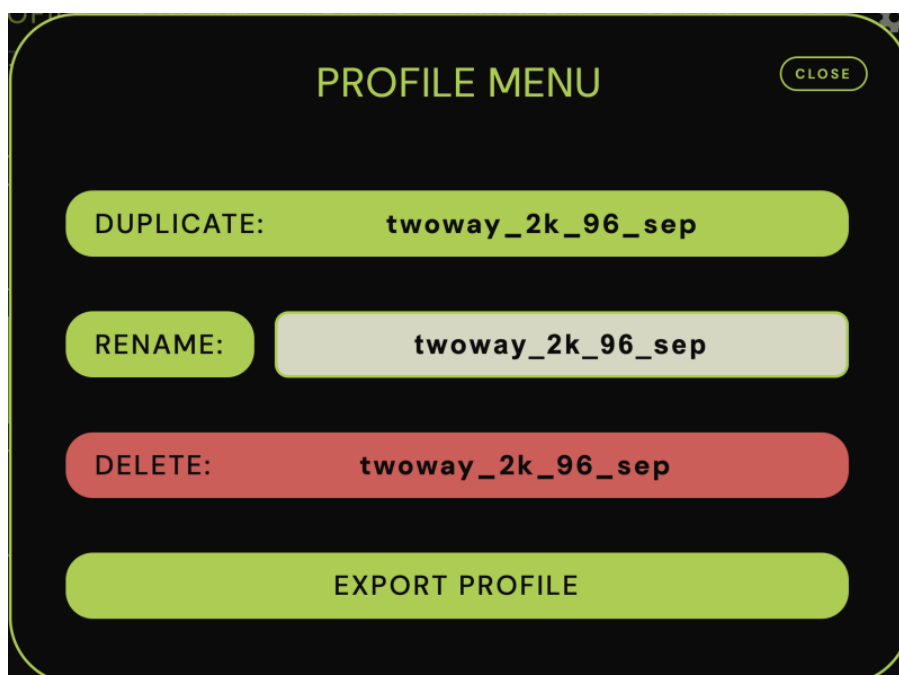
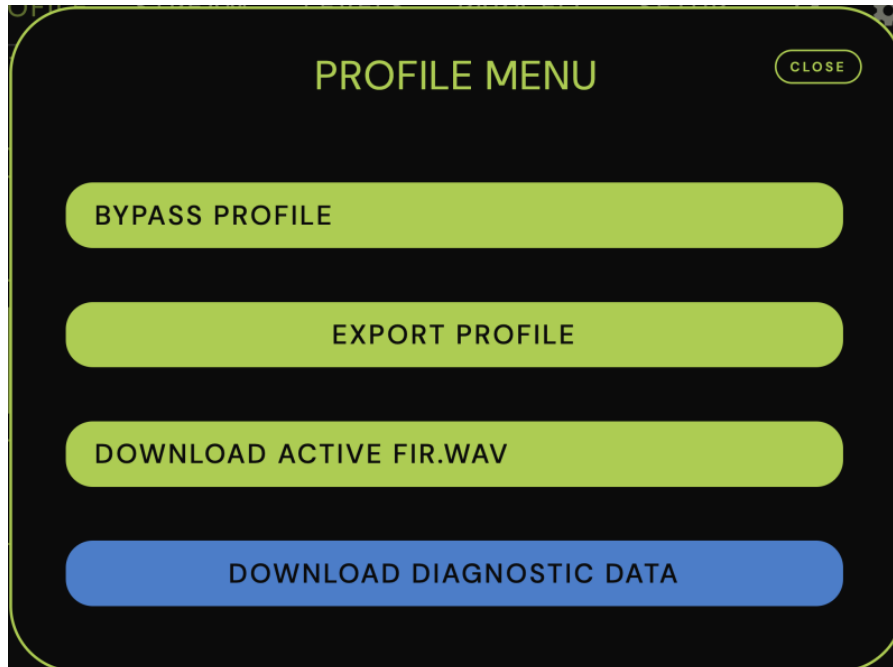
3.1 Source・Profile のドロップダウンメニュー

Source（ソース）と Profile（プロファイル）のメニュー項目に、マウスを重ねる（ホバーする）と表示されるドロップダウンメニューが追加されました。これを使うと、ページに移動しなくても、ソースやプロファイルを直接選択できます。たとえば、Para EQ ページで作業しながら別のソースに切り替えられる便利機能です。

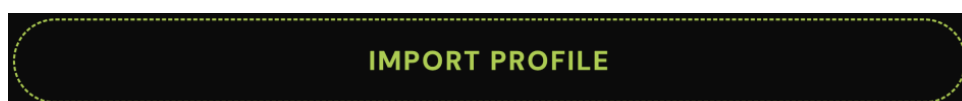


3.2 プロファイルのエクスポートとインポート

スピーカープロファイルをファイルにエクスポートできるようになりました。エクスポートするにはプロファイル名の右にある三本線アイコンをクリックします。選択中のプロファイルとそれ以外とでダイアログの内容は異なりますが、どちらにも **Export Profile** の項目があります。

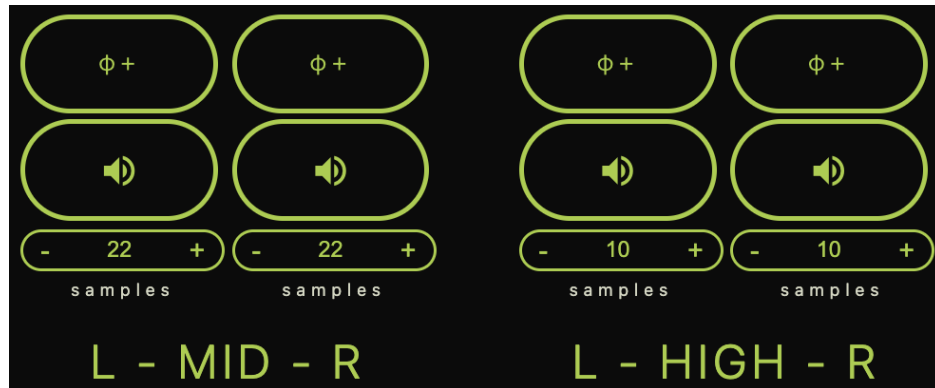


プロファイルをインポートするにはプロファイルページの **Import Profile** ボタンをクリックします。



3.3 Levels ページのチャンネルごとのディレイ

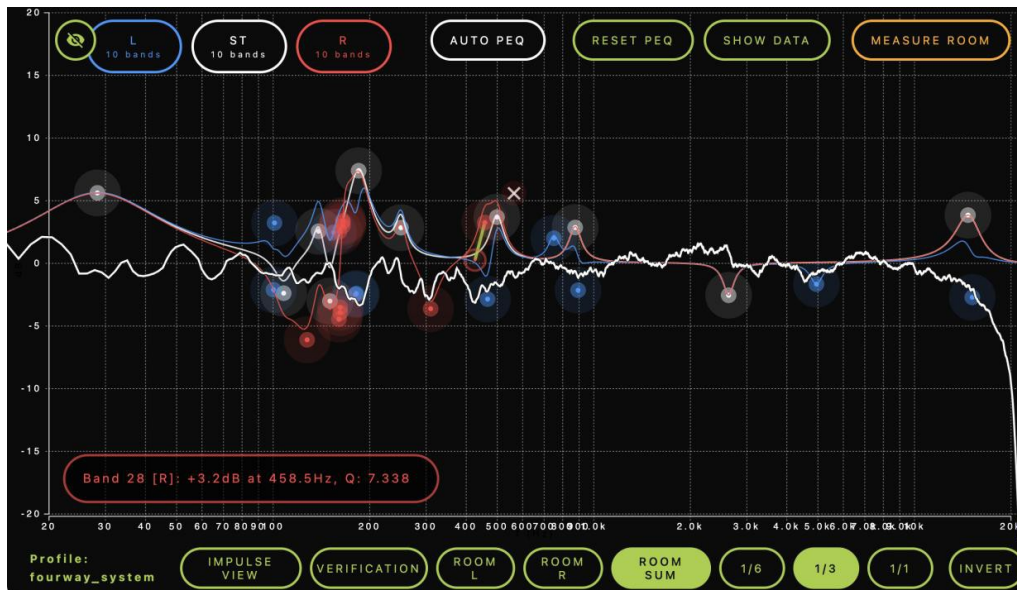
Levels（レベル）ページに、出力チャンネルごとに設定できるディレイ（遅延）が追加されました。フィルターのディレイ変更を手早く試すのに使えます。



（スクリーンショットにはミッドとツイーターのチャンネルのみ写っていますが、8チャンネルすべてにこれらのコントロールがあります。）

3.4 左右独立のパラメトリック EQ

Para EQ（パラメトリック EQ）ページに、3つのEQカーブ（左・右・ステレオ〔両チャンネルに適用〕）が設けられました。



3.5 パラメトリック EQ の自動計算

Para EQ ページで、パラメトリック EQ カーブを自動的に計算できるようになりました。



3.6 スピーカー測定・補正方法の変更

スピーカーの測定・補正の手順について、重要な変更がいくつか加えられました。

3.6.1 新しい測定方式

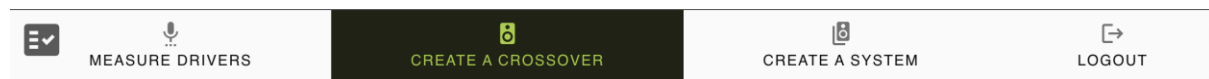
推奨される測定方法が変わりました。アルゴリズムを改良し、すべての測定をリスニングポジションにマイクを置いたまま行えるようになりました。最初から最後まで、マイクを動かすことなく DEQX の補正を実行できます。

これは重要な変更であり、Setup ページと Para EQ ページの変更を伴います。新しい推奨手順については、更新されたマニュアルを参照してください。

なお、無響室（アネコイック）または擬似無響室（擬似アネコイック）での測定も、適切に行える設備をお持ちの方のために、引き続き完全にサポートされています。

3.6.2 「Create a Speaker」が「Create a Crossover」に

Settings（設定）ページの「Create a Speaker（スピーカーを作成）」タブは、「Create a Crossover（クロスオーバーを作成）」に名称変更されました。これは、このページの目的をより明確に絞り込んだこと、そして大幅に強化されたドライバーアライメント方式へ移行したことを表しています。



3.6.3 ドライバーアライメント測定の移動

マルチウェイ・アクティブスピーカーの各ドライバーを整合させる測定は、Para EQ ページに移動しました。

3.6.4 ルーム測定の移動

部屋の中でのスピーカー測定は、Para EQ ページに移動しました。